

---

# ウソツキ

描述 氷菓

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

ウソツキ

### 【Zコード】

Z5244Z

### 【作者名】

描迷 氷菓

### 【あらすじ】

優しい嘘でも嘘は嘘。  
私は優しい君が好き。  
けれど、嘘つきは嫌いなの。  
それでも、私は君が好きなの。

うそつき。

私は助けてほしかったのに。

君は助けてくれると黙っててくれたのに。

どうして。

涙が頬を伝わる感触があった。

涙の流れたあとはその筋が冷たくて、寒気が少しした。

携帯はいつまで待っても鳴らなくて、

君の手はいつまで経ったても私の手を握ってくれない。

「大丈夫」

そういうて、撫でてくれた。

でも、大丈夫じゃないの。

知らないの？

助けてよ。

泣いてるの。

「何でも言つて?」

言いたいの。

だけど、言えないの。

君が、いないの。

これまで、伝えたいことがたくさんあったのに

いつも、いつも君がいなくて

言えなくて

うそつき。

うそじでよ。

私はここにいるの。

君は知つているでしょ?」

窓の外は雪が優しく落ちて消えていく。

「こんな都会じゃ積もらないだろ?」と私は、思っている。

心の中で、「積もって欲しい」と思っていることは秘密にして。

期待して、外れるとダメージが大きいでしょう?

だから、ウソツキな君にも期待はしたくないの。

けど、心の中でこっそりと

君の事を期待しているのは秘密にして。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n5244n/>

---

ウソツキ

2010年10月9日01時17分発行